

至昭永年

陣中日誌

獨立迫擊第九中隊

月 日
勤 務 所

主要行第

彈藥山隊第一分隊、第一小隊、第二分隊、第二小隊、隊之演習、演習施
 一〇九〇〇三十一二〇〇一五〇〇三十一六。這觀測、通信
 班共ニ手旗、通信訓練ヲ實施ス
 人員ノ異動
 前日ノ總員 一五四名
 本日減 十
 本日現在員 一五四名
 十月二日 雨
 於第五六。五凡
 日直勤務
 下士官 川口兵長
 上等兵 榑井上等兵
 一、大西軍曹ハ病名不明ニヨリ鹿兒島陸軍病

月 日
勤 務 所

院ニ入院ス
 人員ノ異動
 前日ノ總員 一五四名
 本日減 一
 本日現在員 一五三名
 十月三日 晴
 於第五六。五凡
 日直勤務
 下士官 河井軍曹
 上等兵 渡辺上等兵
 長 野々口少尉
 小川軍曹
 步哨掛 松本上等兵
 步哨 兵六

主要行事		1. 〇七〇〇鹿兒島港出港 船團名「カク三三三」付ス
		2. 一三三〇佐田岬附近通過
		3. 一七三〇屋久島沖通過
人員異動		
前日ノ總員		一五三名
本日減		十
本日現在員		一五三名
勤場月	十月四日	晴后雨
勤務所	於第五六〇五九	
	八日(通)勤務	
	將校	村上進尉

主要行事		1. 三四〇〇大島東方六十哩海面敵潜水艦發見ハ情
		2. 船内衛兵
		3. 对潜監視哨
		4. 对空对潜射撃部隊
下士官		小畑軍曹
上等兵		岩浜上等兵
司令		渡辺兵長
歩哨掛		峯平上等兵
歩哨		兵六
長		野々口少尉
		山下伍長
歩哨掛		増田上等兵
歩哨		兵六
第一小隊		第五分隊
第二小隊		第六分隊
		第七分隊
		第八分隊

報アリ

人員異動

前日ノ總員

一五三名

本日減

十

本日現在員

一五三名

十月五日

晴

於第五六〇五丸

八日直勤勤務

下士官

榎岡伍長

上等兵

森峰上等兵

二、對潛監視哨

長

野々口少尉

武井軍曹

歩哨掛

加古上等兵

歩哨

兵六

三、對空對潛射擊部隊

第一小隊

第一分隊

第二小隊

第二分隊

主要行事

一〇六三〇。頭徳之島附近通過

一六〇〇。頭沖永良部島附近通過

二二〇〇。沖繩島名護灣ニ夜泊

人員異動

前日ノ總員

一五三名

本日減

十

本日現在員

一五三名

十月六日

晴

於第五六〇五丸

一、船團ハ本六日一三〇〇。那霸港ニ到着ノ事決定

中隊ハ第五六〇五丸輸指命第一八号ニ依リ、那

命場月
令所日

西朝ニ上陸ヲ命ゼラル
 二中隊ハ又保大尉ノ指揮ヲ脱シ那覇ニ上陸セトス
 三上陸ニ際シ勤務員ヲ在ノ通り命ズ
 ハ人員揚塔掛將校 村上准尉
 二資材揚塔掛將校 村岡少尉
 依而夫々所要ノ人員ヲ指揮シ作業ニ特ニ敏速ニ実
 施スベシ
 四対潜監視哨ハ本六日一四〇〇船内殘留部隊
 ニ引継グベシ
 対空・対潜射撃部隊ハ入港ト同時ニ撤收ス
 五給養其他ニ関シテハ別ニ指示ス
 一 中隊ハ主力ヲ以テ速ク揚塔ヲ終リ一部ヲ以テ
 宿营地 質數國民學校ニ前進セントス
 二 片山中村ハ揚塔掛ニ輸送全般ニ関シ夫々區分スベシ

勤務
 日直勤務
 下士官 松尾伍長
 上等兵 小原上等兵
 主要行事
 一 二〇〇〇那覇港ニ入港
 二 中隊ハ「那覇」ニ上陸ヲ命ゼラル當由中隊ハ教育・作戦
 ニ関シテノミ特設輕迫第七大隊長 駐場崎大尉
 一 指揮ニ屬セラレクハ連経將校ヨリ聞ク
 二 曉部隊及ビ兵站ニ届ケテ 兵站ニ於テハ明日

車輛「二五」自動化集車「二」配車ヲ納セリ
 一野口少尉以下七四名資材場塔ノ為メ作業ヲ
 実施ニ當リ

一五三〇人員上陸完了

一六三〇設管並ニ連絡ノ為メ隊長以下三四名宿
 營地集敷國民學校ニ先行ス 一七〇〇到着

隊長「大隊長ニ申セヨ」他中隊ト打合セヲ為セリ
 大隊本部連絡將校中村少尉並ニ副官北村少尉

連絡ニ未ラ種々便宜アリ

尚中道第六大隊車輛「三〇」ノ援助ヲ受ケタリ

一隊屬集物ノ揚陸「二〇〇〇」ヨリ開始ト自連絡アリ
 一八四〇三本軍曹以下四五名部隊追及ノ為メ上

陸地ト出發ニ一〇〇宿營地ニ到着ス
 一宿營地集敷國民學校「大里高嶺國民

學校ニ變更セリシニ先及後者「明七日早朝ニ移動
 ノコトトニ隊長以下七九名集敷國民學校ニ宿營

一兵站ヨリ左ノ通り糧秣ヲ受領ス

玄米 三六〇石 食鹽 三石 梅干 一四石

黒砂糖 八石 粉將油 一三石 味噌 一八石

若回 一五石 青苔 一三石

但一五四名分四日間糧食トス

人員異動

前日ノ總員 一五三名

本日 減 十

本日現在員 一五三名

十月七日 晴

於集敷國民學校

月 日
 場所



命令

第三十三軍命令要旨

一、軍、油縄本島南西部に上陸す。敵、対し、橋
 頭を以て該方面に戦力特ニ火力爆薬力ヲ結
 集し、指し、以て之ヲ其、橋頭堡ニ撃滅シ、企圖ス
 二、第五砲兵司令部、其、記号隊ヲ併セ、指揮シ、軍
 砲兵隊長トナリ、其、指揮下部隊ヲ以テ神山
 東西ヲ連スル線附近以南第六十二第九兩
 師團ハ防衛擔任地域内ニ位置シ、別ニ示ス
 第三十二軍沖繩本島防衛戰鬥計畫ニ據リ
 中頭、島尻兩郡沿岸ニ上陸スル敵ニ對シ、機
 ヲ逸セズ、陸軍ニ全力ヲ以テ、其、橋頭堡ヲ攻撃
 シ、得ル如ク、戰鬥ヲ準備スベシ
 戰鬥準備、重兵方面ニ系滿、那西朝、大山ヲ連
 スル沿岸ニ、沖繩北飛行場、西方及北方ニ沿

山平トス

軍砲兵隊長ノ軍砲兵諸部隊統一運用、準備
 ニ関スル任務並ニ各師團砲兵ニ對スル區處權ハ
 球作命甲第三十五号ニ據ルベシ

左記

獨立道撃砲第三乃至第十中隊
 三、軍砲兵隊ノ陣地及宿營位置ノ細部ニ関シテ
 一、軍砲兵隊長、關係兵團長ト協議決定スベシ
 獨立道撃砲第九中隊命令
 一、中隊ハ第五砲兵司令部ノ指揮ニ入ラシメ、作
 戰、教育ニ関シテ特設第七大隊長ノ指揮下
 ニ屬セシメラル
 二、中隊ハ現在地ニ於テ速ニ駐留體勢ヲ整
 ハ、爾後ノ行動ヲ準備セントス

勤務

三ヶ小山隊ハ明ハ日中ニ兵器、被服、整備ヲ
終リ爾後陣地構築、準備ヲ為スベシ
四給養食ハ皆田分ノ間兵站糧秣ニ依ルベシ

週番士官

村上 中尉

同 下士官

河井 軍曹

同 上等兵

笠原 上等兵

主要行事

一〇八〇。炊具數國民團子校ニ宿營セル設営者
並ニ連絡者ハ逐次高嶺國民團子校ニ移動ス
一資材、材揚陸作業ハ整言、戒言報令セラレ
タル爲ニ一時中止セシメ六〇〇ヨリ實現施シ一八〇〇
終了ス

一資材ハ兵站ヨリ協力セラレタル馬車ニ五、自
動化貨車ニ、迫撃等第六大隊ヨリ協力セラ
レタル留置車輛ニ六、ヲ以テ一八三〇。上陸

地兵出發後ニ三三〇。高嶺村ニ到着ス

一火谷口軍曹、加藤兵長ハ事務、連絡ノ爲メ

一一〇〇。軍司令部ニ出張ニ四〇〇。歸隊ス

其陸軍用地圖及ビ土工器具(月是ニ〇、十

字、鋏一五、鋤五)ヲ第五砲兵隊司令部ヨ

リ受領ス

一那西朝ヨリノ揚陸資材ハ〇七三〇。頃大里ニ到

着スル予定ナルニ拘テ五午ニ至ル天到着セズ

心配セシ處、一四三〇。高野伍長連絡ニ来リ

「是非共本日本中ニ揚陸ヲ完了シテ歸隊ス」

旨野々口少尉ヨリノ傳言ヲ聞テ揚陸状況

ハ野戦重砲部隊ノ完了ヲ待機セリ

一八一〇。山下伍長連絡ニ来リ迫撃ノ揚陸ハ

一六三〇ヨリ開始スル天光榮丸一七三〇。ニハム口

湾ニ出發ス

殘留貨物ニ松尾伍長以下三名監視ノ下ニ

山口灣ニ至ルノ外意シ、使役兵ハ全員歸隊ス

レ上ヨリ出ロク、依而使役兵ハ歸隊スバカウズ

野々口少尉ノ歸隊スベキ(砲兵隊ノ教育ニ奉ル

レ爲)上ヨリ山下伍長ニ傳令セムト共ニ迫第六

大隊經由ニテ砲兵隊ニ電話シ是非共船ノ出

港ヲ延期ニテ揚陸ヲ完了セシムル様手配ヲ

依頼ス

然ル處ニ〇〇〇頃砲兵隊ヨリ回答アリ、曉部

隊ニ連絡セシ處、迫撃手ノ貨物ハ揚陸ヲ

完了セリト依而大隊長以下安堵セシモ尚

不安ナルヲ以テ三木軍曹ヲ派遣シ状況ヲ確

認セシムニ〇〇〇頃山下伍長歸隊マシ、揚陸ヲ

完了セシ上ヨリ聞キ全ク安堵セリ

二二三〇ヨリ八日〇〇〇ニ旦リ逐次資材到

着ス彈薬ハ松下軍曹以下二〇名ヲ加メ數

國民隊子校附近ニ行機セシメ第八中隊ト連

絡シテ安堵セリ

人員ノ異動

前日ノ總員 一五三名

本日ノ減 一

本日現在員 一五三名

十月八日 晴

於油繩縣島尻郡高嶺村

陸軍少尉 野々口 清

自十月九日 向第九七〇部隊ニ於テ安具施セ

命場月
令所日

署

三	九ノ射撃手教育月ニ参加シテ人頭セリシ依テ明九日。九ノ。三ニ興義廠合吉ニ五ニルヘシ	陸軍中尉	野々口清
三	郵便物除閱員在番アリ人頭セリ	陸軍中尉	谷口義郎
三	週番勤務者前日ニ同シ		
一〇六〇〇	福田兵長以下五名小銃受領ノ爲メ第一五砲兵隊司令部ニ出張シ左記ノ通り受領		
二一八三〇	歸隊ス		
	左記		
	九九式短小銃	二〇挺	
	同 藥盒	二〇挺合	
一一三〇	第三二五回大砲全射撃日ニ共ニ四リ計書		

勤務

主要行事

書

十月九日	晴	於津龍縣島尻郡高山嶺村
週番勤務者前日ニ同シ		
一〇六〇〇	野々口少尉ニ第九七〇部隊ニ於テ三日間演習施シ射撃手教育月参加ノ爲メ出發ス	
二四〇〇	日中隊ノ兵器検査ヲ行フ一四四〇終	
マニ		
人員異動		
前日ノ總員	一五三名	

月日

場所

勤務

主要行事

書

月日
場所
勤務
主要行軍

十月十日 一雨

本日減 十 五三名

於油隈縣島尾郡高嶺村

週末勤務者前日と同じ

由隊長ハハハハ大隊本部ニ於ケル隊長合同

ニ出席一。歸隊ス

由隊長合同議ノ内容を如シ

(一) 由隊陣地ノ測地資料ヲ十一日迄迄ニ大隊

本部ニ提出シ 測地由隊ニ依頼スルコト

(二) 大隊經理ヲ統一負責施スル為メ明十一日各

隊經理ハ士官ヨリ合同セシム

(三) 迫六轉出ニ因リ挨拶ヲスルニト

明日後各中隊隊長ハ協力シテ陣地偵察ヲ実

施ス

(四) 薪不足ノ為メ本島北部ノ森林地帯ニ兵

ヲ派遣シ伐ヲ作業ニテ自隊ニ供給スル此

ノタメ各隊ヨリ使役兵一〇名ヲ差出スコト

(五) 當隊ヨリ大隊本部勤務カトシテ

指揮班長、觀測掛下士官及兵、馬取扱

兵、自動車兵各一ヲ差出スコト

二六。村岡少尉由中軍由以下兵四、迫殺手第六

大隊轉出ニ因リ馬匹受領其他今日迄ノ協力

ニ付テハ大隊ヨリ感謝ノ挨拶並ニ負傷者

見舞ハハ為メ出張ニ三。歸隊ス

人員ノ異動

前日ノ總員 一五三名

本日減 十

書

三	陸軍上等兵	松野久藏
同	一等兵	木下豊
同	二等兵	塩崎丑男
同		大石忠太郎
同		古屋正雄
同		芝野房次
同		河井正一
同		杉本竹雄
同		長谷川惣一
同		石川尚
四	陸軍少尉	如藤修成
五	陸軍中尉	片山貞三

伐不隊員ヲ命ズ但シ別命ニ依リ待機ス

大隊本部ニ計下ニ官舎同日ニ出席ヲ命ズ

同	軍曹	山本重雄
同	上等兵	柴川晴夫
同	同	山本景
同	一等兵	本原寛

大隊命令ニ基キ明日ヨリ大隊本部勤務ヲ

命ズ

依而明日朝食後大隊本部ニ至ルベシ

六右ニ依リ左記ノ如ク服務スベシ

指揮班長	陸軍少尉	野口清
第一小隊長	同	村岡汎夫
第二小隊長	同准尉	村上和三郎
彈藥小隊長	同軍曹	松下夏次郎

七片山中尉ノ大隊本部勤務ニ依リ左記ノ如ク業

務ヲ担フ命ズ

教育、情報、防空、防謀、兵器、經理

野々口少尉

糧秣(物出販賣所)令(令)被服、陣營具、衛生

村岡少尉

陸軍少尉 野々口 清

同 軍曹 三木 清

馬匹掛り人等

週常勤務者之別日三回

勤務
主要行事

一。九三。中隊長、片山少尉、野々口少尉以下七名陣

地偵察ノタメ出及返

一。二〇。中隊長、片山少尉、野々口少尉陣地偵察

リ一旦歸隊ス

一。四三。中隊長、片山少尉、野々口少尉ハ午前ニ

引續キ陣地偵察ノタメ出及返

一。五〇。陣地構築材料調達ノ為ノ那覇朝ニ出

張中ノ松下(軍曹)武井(軍曹)以下兵四歸隊ス

一。五四。馬監視交代トシテ第六大隊ニ出張中ノ

千葉兵長以下六名親馬五頭ヲ受領シ歸隊ス

一。六〇。中隊長、片山少尉、野々口少尉以下七名

陣地偵察ヲ終リ歸隊ス

一。掩付構築用ノ土工具ノ製作ニ着手セシメ、鍛冶

屋他隊ニ有リカラレ困難ナリ

一。七。十。中隊長ニ對シテ事トセリ

入馬ノ異動

前日ノ總員 一五三名

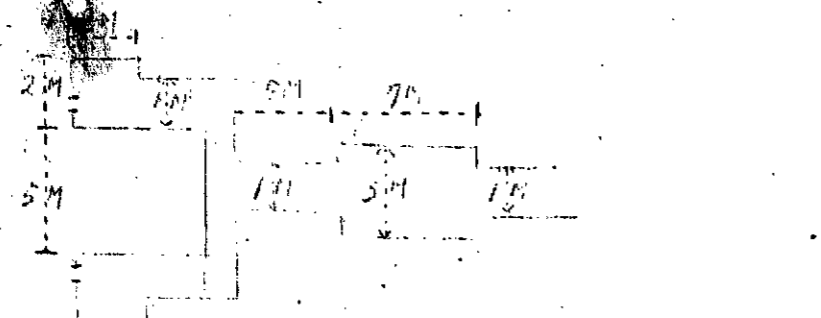
本日減 十

本日現在員 一五三名

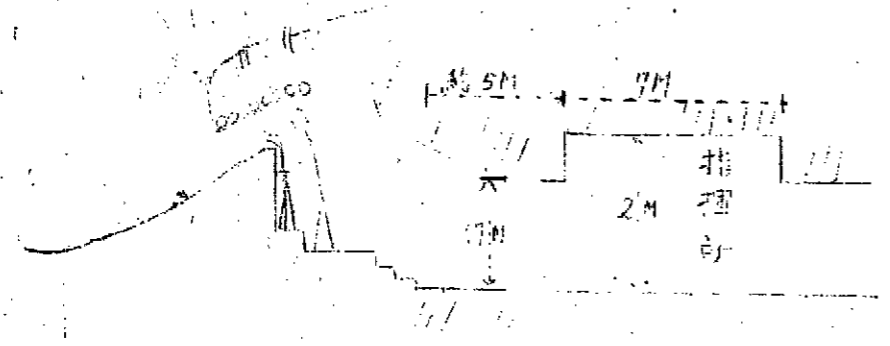
馬匹 親馬 五頭

五

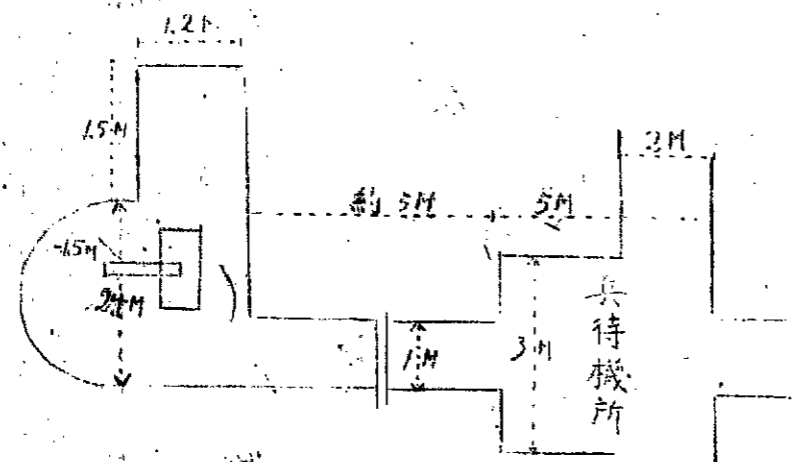
迎擊地陣地工事圖



指揮班

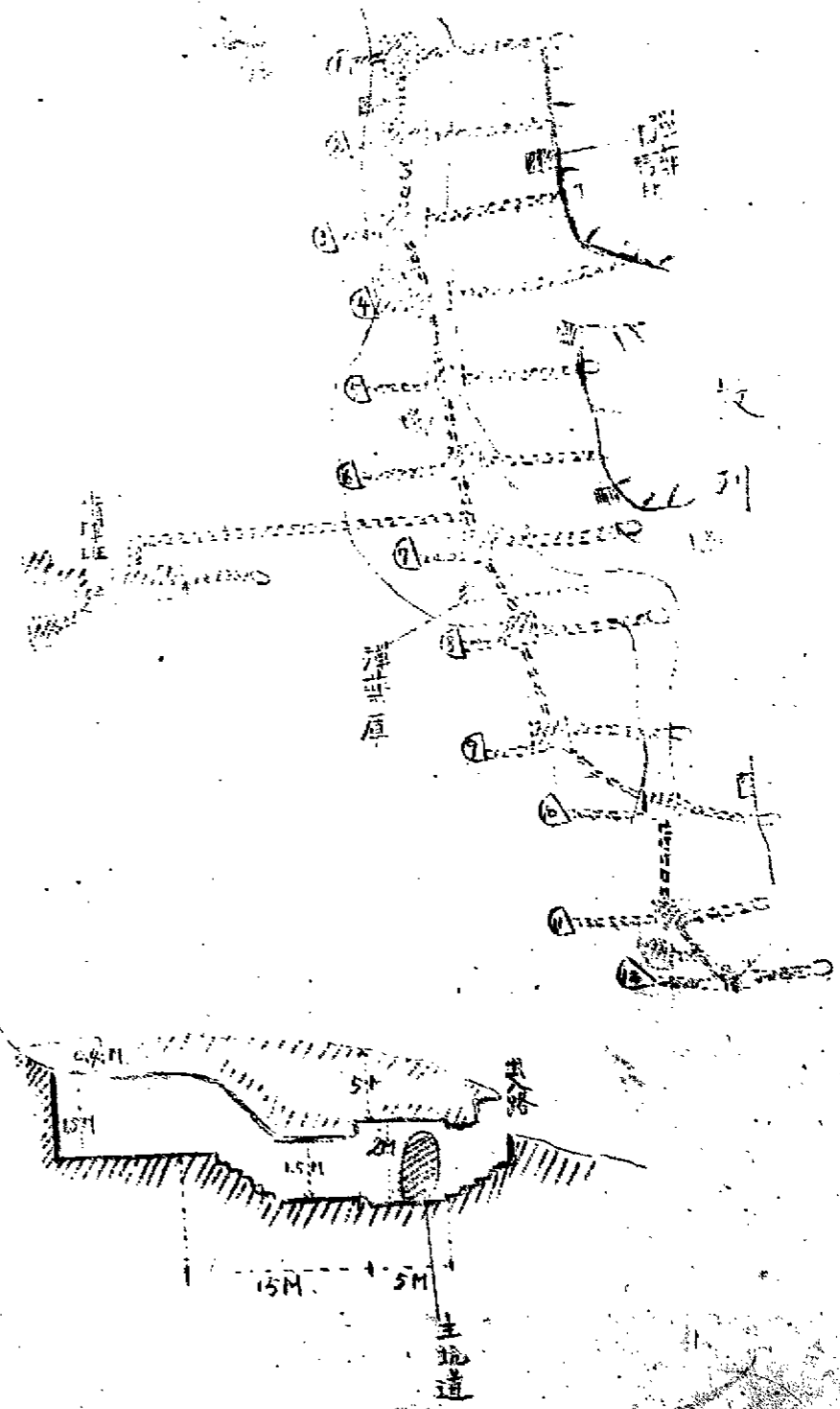


指揮所



砲掩體

主坑道



構築用土具作製ノ爲ノ系滿ニ出張一七〇〇
 鳥隊入

月 勤場
日 所 務

大隊本部會同

援助工兵ノ給養ノ件ニ付會談ス(副食糧物十名
分ヲ差出入コト)

一。三。中隊全員月例身體検査ヲ實施ス(二三
終了ス)

人馬ノ異動

前日總員

一五三名

本日減

十

本日現在員

一五三名

馬匹

鞍馬

五頭

十月十四日 晴

於沖繩縣島尻郡高嶺村

週番勤務

週番士官

村岡少尉

主要行事

同番下士官 小川 軍曹
 同上等兵 中西 上等兵
 同番上等兵 小見山 上等兵
 一〇七三。松下軍曹以下五名ハ陣地構築作業
 用土工具作製ノ爲メ系滿ニ出張ス
 一〇八〇。村上准尉以下六十一名陣地構築作業
 ニ出發 一七三。歸隊ス
 一〇八三。ヨリ大隊本部ニ於テ將校教育アリ
 一一三〇。終了ス
 一一三三。湾軍北地区及日南地区ニ対シ警備
 戒警ヲ報發令
 一第大隊ヨリ既合ヲ受領ス
 人馬ノ異動
 前日ノ總員 一五三名

月日 場所 命令

十月十五日 晴
 於沖繩縣島尻郡高嶺村
 迫撃隊第二大隊命令(迫二作命第二号)
 一敵情ニ関シテハ球參情第二五三第二五四号也
 二部隊ハ軍命令ニ基テ十月十六日。六三。一。九〇。
 一丙号戰備ヲ完了セントス
 三各中隊ハ十六日。六〇。迄ニ之ガ戰備ヲ完了ス
 同番勤務者前日ニ同ジ
 一〇六三。川原軍曹以下六十三名陣地構築作業
 二出發 一七三。歸隊ス

勤務 主要行事

命場月
令所日

陣地構築用上具作製ノ夕ノ系満ニ出張中
松下軍曹以下六名一四二〇歸隊又
人馬ノ異動

前日ノ總員 五三名

本日減 十

本日現在員 一五三名

馬 匹 五頭

十月十六日 雨

於沖繩縣島尻郡高嶺村

球第一二四二部隊日命令

命 陸軍少曹 谷口義郎

同上等兵 松本幹一郎

同上等兵 小坂博

同軍曹 山本重

同上等兵 柴川晴夫

同一等兵 本原寛

右通リ大隊本部勤務ヲ免命又

同番勤務者前日ノ同

勤務
主要行事

一中隊十月九日附球參編第十号ニ依リ仮

編輕迫撃隊第二大隊ニ属セラル

一中隊ニ迫ニ作命第二号ニ基キ丙師戦備

ヲ完了ス

一五〇〇隊長第一次ノ号ノ演習現地踏査

ノ爲ノ典儀球第九七〇〇部隊ニ出張ニ

〇〇歸隊ス

一山畑軍曹病名未定ニ依リ第九師團第二

野戦病院ニ入院ス

一駐留間ノ衛生ニ関シテハ個人衛生ノ徹底防疫

命場月
令所日

百

二重兵ヲ指向ス

期

個人衛生トシテ、機曾教育ヲ強化シ徹底ヲ

二所疫シシテ、四井販賣品ノ購入禁止地方

八トノ接觸制限等ヲ實現施シマアリ

本日現在患者 入院ニ、練兵休ニ、
八馬、異動

前日、總員 一五三名

本日、減 入院 一名

本日現在員 一五二名

馬一匹、魏馬 五頭

十月十七日 晴

於油繩縣島原郡高嶺村

迫撃隊第二大隊司令部(迫撃隊第三号)

敵ハ航空部隊ヲ以テ支那基地ニ於テ各々出

動準備中ニシテ近ク南西諸島ヲ攻撃スル算

大ナリ毎日自。六三。至。九。丙号戰備ヲ令セ

ラル

二大隊ハ對空戰備ヲ強化シ敵航空部隊ノ奇襲

ニ對シ準備ス

三第七、九、十中隊ハ建成順ニ自。五三。至一七三。

間長以下三名、對空監視哨ヲ表明南側台地

ニ設ケ、中隊先任週番士官ハ之ガ指揮ニ任ス

ベシ

四兵器、器材、軍需品、洞窟内ニ收容シ期ヲ失

セズ待避スル様準備スシ

五各中隊ハ戰備及ビ兵器、器材、軍需品ノ洞

窟併用計畫ヲ明十八日。九。迄ニ筆記

提出スベシ

迫撃隊第二七隊命令

一 大隊「軍砲兵隊戦闘ニ関スル計畫書」ニ基キ
 中隊北飛行場地區ニ上陸ヲ予想セル敵ニ
 對シ橋頭堡破碎射撃ヲ準備スベク比謝
 東方高地ニ陣地ヲ占領セントス

二 各隊ハ明十八日ハ〇〇迄ニ中隊長以下五〇名
 ヲ以テ出勤準備ヲ完了スベシ但シ第九中隊ハ
 中隊長以下三〇名トス

三 携行資材其他ニ就テ別ニ示ス

四 給養部隊糧秣ニ依リ三日分ヲ携行スベシ

獨立迫撃隊第九中隊命令

一 中隊「迫ニ作命令」第三号ニ基キ明十八日〇七三〇
 迄ニ出勤準備ヲ完了スベシ

編成ハ別紙陸地構築參加人員表ニ依ル

二 携行資材其他ニ就テ別ニ示ス

三 給養部隊糧秣ニ依リ三日分ヲ携行スベシ

球第一二四四二部隊日命令

一 免 乙書記 陸軍中曹 谷口義郎

命 同 同任長 山下真吾

右ノ通り免命ス

週番勤務者前日ニ同シ

一。八〇。小原軍曹以下三十三名陣地構築作業

ニ出發 一七〇。歸隊ス

人馬ノ異動

前日ノ總員 一五二名

本日減 十シ

本日現在員 一五二名

勤務
主要行事



命場月
令所日

十一月十八日
馬 匹 魏馬 五頭

於沖繩縣島尻郡高嶺村

迫敵軍第一大隊命令 (迫三作命甲第四号)

一大隊、今夜以降、嘉手納農林學校ニ宿營、

明十九日ヨリ、比謝東方高地ニ陣地ヲ構築セシム

ス

三名隊ハ片山中尉指示ニヨリ夫々嘉手納農林學校

校ニ宿營シ、明十九日ヨリ、陣地構築作業ヲ

準備スベシ

球第一二四二部隊日日命令

兵器掛下士官 陸軍曹 松下夏次郎

觀測掛下士官 同 河井 強

第一小隊第一分隊長 同 大西義雄

第一小隊第二分隊長 同 太田 力

同 第三分隊長 同 小原 季太

同 第五分隊長 陸軍任長 山下 真吾

同 第六分隊長 陸軍曹 小川 富雄

第二小隊第一分隊長 同 三木 清

同 第二分隊長 同 山本 重雄

同 第三分隊長 陸軍任長 高野 昌雄

同 第四分隊長 同 梶 田 繁

同 第五分隊長 同 近藤 源逸

同 第六分隊長 陸軍曹 武井 利夫

命 兵器掛下士官 同 山本 重雄

觀測掛下士官 同 小川 富雄

第一小隊第一分隊長 同 三木 清

同 第二分隊長 同 小原 季太

勤務

第一隊第三分隊長	陸軍曹	河井 強
同 第二分隊長	陸軍伍長	高野昌雄
同 第六分隊長	同兵長	千葉 實
第二隊第一分隊長	同軍曹	太田 力
同 第三分隊長	同	大西義雄
同 第四分隊長	陸軍伍長	武井利夫
同 第五分隊長	同	近藤源逸
同 第六分隊長	陸軍伍長	梶岡 繁
頭書司ノ通リ 兎命入	陸軍伍長	谷口 實
週番勤務		
週番士長	野口少尉	
同 下士長	近藤伍長	
同 上等兵	小原上等兵	

主要行事

中隊ハ迫ニ作命第三早ニ基キ。七三。出動準備完了。八。出發
 参加人員左記ノ如シ
 隊長以下將校ニ 下士長四、兵二四
 嘉手納行軍部隊ハ四十料ヲ行軍シ、二。〇。全
 員異狀ナリ到着、嘉手納農林學校ニ宿營ス
 一。七三。小原軍曹以下四十八名陣地構築作業
 ニ出動一七。〇。歸隊ス
 一。九。〇。原田兵長以下七名ハ輜重車輛受領ノ夕
 ヲ第六大隊ニ出張ニ一。〇。歸隊ス
 輜重車輛六輛ヲ受領ス
 二球第一。二七九部隊川上隊(工兵隊)
 陸軍一等兵 矢部秀文

週番上等兵

此川上等兵

月日 場所 勤務

陸軍二等兵 角野 實
 本日陣地構築作業援助ノタメ。九二〇ヨリ一六〇〇迄勤務ス
 人馬ノ異動

前日ノ總員	一五二名
本日ノ減	十
本日現在員	一五二名
馬匹	五頭

十月十九日 晴
 於沖繩縣島尻郡高嶺村
 一週番勤務者前日二回シ
 二村空監視哨
 松野 一等兵
 和田 二等兵
 中島 二等兵

主要行事

一在嘉加手納部隊ニ疎開地ニ於テ個人用掩体
 竝ニ二人用掩体各二十五ノ作業ヲ實施スルニ
 完成セルハ三分ノ一程度ナリ
 一〇七三。小原直曹以下六十二名陣地構築作業ノ
 タメ出張一七〇〇歸隊ス
 一陸軍第一〇二七九部隊川上隊
 陸軍上等兵 小林 二 外三名
 一本日陣地構築作業援助ノタメ。八〇〇ヨリ一六〇〇
 迄勤務ス
 人馬ノ異動

前日ノ總員	一五二名
本日ノ減	十
本日現在員	一五二名
馬匹	五頭

月 日
命 所

十月二十日

晴

於沖繩縣島尻郡高嶺村

迫撃隊第二大隊命令(迫撃隊甲第五子)

一大隊ハ本月三日ヲ以テ比謝東方高地ノ第一陣地構

築作業ヲ終リ 昨二十日ハ〇〇嘉手訥出發、元

駐地ニ歸還セリ

二各隊ハ昨二十日〇七五〇迄ニ農林野ニ南側道路

ニ出發準備ヲ完了シ小林中尉

受テ第四

号道路ヲ経テ大々元駐地ニ 隊ヲ引

三行軍本列九ノ如シ

本部ハ中隊、十中隊、九中隊、七中隊

四北村少尉ハ自動貨車ヲ以テ後方

五給養部隊ヲ行糧秣ニヨリ晝夕食ヲ携行

ス

勤 務

主要行事

六余ハ明朝自動貨車ニヨリ歸還ス

洞悉勤務者前日ニ同シ

陣地構築並ニ掃概況

一砲掩体

總數量一ニヨリ各分隊毎ニ掃概開始シ目下着

々進捗ヲ見居レルニ完成ノ域ニ至リ全陣

地ヲ基準トシテ七〇%程度ノ概成状況ニアリ

一觀測所

抗道出入口ノ採掘ヲ開始シ居リ

一彈藥倉

抗道ニヨリ成リ一單位七米、總十四米ナリ、現

在內四米ノ完成ヲ見、二五%ノ完成率ヲ示シ

居リ

珊瑚礁ニ依ル強度ノ出石盤ナルヲ作業意ノ如ク

進捗セズ、石工器材ニ関シ地方鍛工場ヲ利用シ
 自隊ニシテ製作シヤレドモ、鉄材甚ダシク不足シ之ガ
 補給ニ関シ古鉄類入ヲシテ手段ナキモノヤ
 一〇八〇〇小隊軍曹以下五十三名陣地構築作業ニ
 出發一六〇〇歸隊ス
 派隊一〇二七九部隊川上隊 陸軍上等兵小林二一升
 一名ハ本日陣地構築作業援助ノ爲メ〇八〇〇ヨリ
 一六〇〇迄勤務ス
 一〇八〇〇三才軍曹以下七名馬廻
 喜和山ニ出張一五四ヨリ
 領ノ爲メ建
 在嘉手納部隊ハ自軍
 掩体構築ノ予定ナリシニ兵用掩体ノ
 日没トナレ

月 日 場所 勤務 主要行事

本日診断患者数 九名
 人馬ノ異動

前日 總員 一五二名
 本日 減 一十三名
 本日現在員 一三九名
 馬 匹 輕馬 五頭

十月二十一日 曇後雨
 於沖繩縣島尻郡高嶺村
 週番勤務者前日ニ同シ
 一在嘉手納部隊ハ〇八〇〇出發ニ〇〇〇歸營ス
 一〇八〇〇小隊軍曹以下四九名陣地構築作業ニ
 出發一四〇〇歸隊ス
 球第一〇二七九部隊川上隊 陸軍上等兵小林二一
 外三名陣地構築作業援助ノタメ〇八〇〇ヨリ一三〇〇

月 日
勤 務

沿勤務	一層所二等兵 志所名定ニ依リ第九師團第二野 戰病院ニ入院	人馬ノ異動	前日ノ總員 一五二名	本日減 入院 一名	本日現在員 一五一名	馬匹 一頭	二月二十二日 晴	於沖繩縣 宜野郡 久村 一週ノ番勤務者前日同シ 三時至監視哨 紅頭一等兵 服部一等兵 本根二等兵
-----	---------------------------------	-------	------------	-----------	------------	-------	----------	--

主要行事

月 日
勤 務

主要行事	一。八。〇。小原軍曹以下五十三名陣地構築作業 二。出發一六二〇歸隊	球幕一〇二十九部隊川上隊陸 三名陣地構築作業援助	延勤務者 人馬ノ異動	前日ノ總員 一五一名	本日減 十	本日現在員 一五一名	馬匹 五頭	十月二十三日 晴	於沖繩縣 島尻郡 高嶺村 週番勤務者前日同シ 一。六。〇。小原軍曹以下五十八名陣地構築作業ニ出
------	--------------------------------------	-----------------------------	---------------	------------	-------	------------	-------	----------	---

發一三〇。歸隊ス

一三三。部隊完結記念式ヲ舉行ス

一陸軍二等兵神田茂。陣地構築ノ功ヲ賞メ

一行進間終始奮闘最モ功績ニ賞詞ヲ受ク

人馬ノ異動

前日ノ總員 一五一名

本日ノ減 十

本日現在員 一

馬 匹

十月二十四日 曇

於此觀望島尻高嶺村

通達對敵者前日同

十月三十一日 晴 初度巡視了

ハ〇六二〇本部前ニ整列了完 巡視了又

〇七三〇終了ス

一〇八〇將校以下五十五名陣

出又發 一七〇。歸隊ス

球第一〇二七九部隊以上隊

以下二名陣地構築作業援助

一七〇〇迄勤務ス

一中隊長本日病名未定ニ依リ第九師團第四

戰病院ニ入院ス

人馬ノ異動

前日ノ總員 一五一名

本日ノ減 入院 一名

本日現在員 一五〇名

馬 匹 五頭

勤場月
務所日

十月二十五日

曇

於油繩縣島尻郡高嶺村

二週番勤務

週采田士官

松下軍

同 下士官

原田兵長

同 上等兵

平松上等兵

二對空監視哨

田田上等兵

二對空監視哨

渡

主要行軍

一〇七〇 松下軍曹等

二出發 一七三〇 歸隊

八馬ノ異動

前日ノ總算

一五

元

命場月
令所日

十月二十六日

晴

於油繩縣島尻郡高嶺村

迫撃隊第二大隊命令

一敵反攻ハ逐次熾烈化シ有シ、敵機

隊ハ「コラオ」諸島、比島東方海面ニ蠢動シ

リテ台湾南西諸島ニ出現ノ算ナリ

敵ノ偵察機ハ本島ニ屢々近接シ、徴候

狀況予斷ヲ許サハルモノアリ

二大隊ハ速ニ「七三六」高地ノ陣地ヲ完成シ、注力

ニ大城森林南西陣地ノ構築ニ着手シ

迫撃隊第六大隊ヨリ継承セル事

本日減

本日現在員

馬匹

勤務
主要行事

行々敵機襲撃態勢ヲ備ヘントス
 三名隊ハ概シ本十月末日
 於此砲掩体ヲ完成シ十二月一
 以テ大城第一陣地ノ構築ニ
 以テ各隊ノ陣地ニ配當シ作
 シテハ現地ニ於テ示ス
 各中隊長ハ指揮班長ヲ伴
 〇九〇〇迄ニ大城森林南側
 ン
 週斎勤務者前日
 一〇五〇〇山原軍曹
 タメ出發山石川軍曹
 徹夜ヲ以テ作業ヲ續行シ
 一〇七〇〇高野伍長以下
 各陣地構築中

勤務

月日	場所	勤務
十月二十七日	晴	業ニ出發一九〇〇部隊又 一〇七〇〇指揮班田中軍曹 作業ニ出發一九〇〇 人馬ノ異動 前日ノ總 本日ノ概 本日現行 馬匹 輕馬 五
	於此瀨野島宛部高嶺村	
	週斎勤務者前日ノ同	
	一〇六〇〇指揮班田中軍曹以下四名	
	作業ニ出發一七〇〇部隊	
	一〇八〇〇山原軍曹以下四名 陣地構築作業	

勤場月
務所日

十月二十八日 晴
 於沖繩縣島尻郡高嶺村
 一週番勤務者 前日同
 三 防空監視哨

警

同一上又中隊運搬車總動
 部分ハ人力搬送ヲ以テ
 作業ニ支障ヲ來ス
 = 萬道セリ
 人馬ノ異動

前日ノ總員
 今日減
 本日現在員
 馬匹 鞍馬

二 出發 一三三〇番
 一〇〇〇 機回位三以下十二
 一三三〇 機回
 陣地補給進捗状況
 華城同一下村ノ代取 状況
 軍多地區隊員 七八人 林六十番 十番 十番
 一リ 松木用松村 代取機回ニ
 搬出ニ關シニ 交通ニ便スル
 對シニ 機回機回地
 二二〇 代取スル能
 吾リ 從而ニ
 セリ 即チ 地ノ小運
 處ニ依リテ 統制セシムル
 一リ 然レニ 中隊全員ハ 二二〇 機回機回

主要行事

三

月 日
場所

一〇七〇。諸指揮班の中軍書
 業ニシテ一七三〇。歸隊
 一〇八〇。山崎軍書以テ九名
 出發一三〇〇。歸隊
 一〇九〇。午一三時ニ引續ニ松本軍書
 〇〇。歸隊ス
 八馬ノ異動
 前日ノ總
 本日
 馬区

勤務
主要行事

三

週番勤務者前日ニ同ジ
 一〇七〇。指揮班田中軍書
 作業ニ出發一八〇
 一觀測班川合
 〇七三〇出發一三〇
 午後二時ニ引續キ
 歸隊ス
 一戦砲隊一〇七〇ヨリ陣
 運搬ヲ開始シ夜ヲ徹ニテ
 八馬ノ異動
 前日ノ總員
 本日
 本日
 馬

月日	場所	勤務	主要行事
十月三十日	於沖繩縣島尻郡	週番勤務者前日二回	一戰砲隊 二〇〇〇引續走 三〇〇〇歸隊入 四〇五〇指揮班田中軍馬 作業二出發一八〇〇 一三〇〇觀測班小川軍 夕夕出發一六三〇 人馬四回動
		本日減	本日現員
		馬匹	

陣地構築參加人員表

木下隊長	泉	一等兵
野口少尉	木下	一等兵
村岡少尉	橋本	一等兵
小川軍曹	中井	二等兵
武井軍曹	細田	二等兵
木尾伍長	神田	二等兵
毛田伍長	古屋	二等兵
松山一等兵	野島	二等兵
增田上等兵	古川	一等兵
井上上等兵	渡辺	一等兵